市場営業部 為替営業第二チーム

# **MIZUHO**

**One MIZUHO** 

0.5%/8.5%

47.8

48.0

# みずほCustomer Desk Report 2023/03/02 号(As of 2023/03/01)

• • -			•	<u> </u>	<u> </u>
【昨日の市況概要】				公示仲值	136.40
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	136.37	1.0573	144.16	1.2026	0.6728
SYD-NY High	136.47	1.0691	145.35	1.2088	0.6782
SYD-NY Low	135.25	1.0567	144.07	1.1965	0.6695
NY 5:00 PM	136.22	1.0670	145.35	1.2025	0.6759
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	32,661.84	5.14	日本2年債	▲0.0300%	0.0100%
NASDAQ	11,379.48	<b>▲</b> 76.06	日本10年債	0.5000%	0.0000%
S&P	3,951.39	<b>▲</b> 18.76	米国2年債	4.8775%	0.0606%
日経平均	27,516.53	70.97	米国5年債	4.2559%	0.0714%
TOPIX	1,997.81	4.53	米国10年債	3.9935%	0.0676%
シカゴ日経先物	27,485.00	60.00	独10年債	2.7150%	0.0750%
ロントンFT	7,914.93	38.65	英10年債	3.8410%	0.0190%
DAX	15,305.02	<b>▲</b> 60.12	豪10年債	3.7940%	▲0.0510%
ハンセン指数	20,619.71	833.77	USDJPY 1M Vol	12.20%	0.10%
上海総合	3,312.35	32.74	USDJPY 3M Vol	11.59%	▲0.03%
NY金	1,845.40	8.70	USDJPY 6M Vol	11.08%	▲0.10%
WTI	77.69	0.64	USDJPY 1M 25RR	<b>▲</b> 1.70%	Yen Call Over
CRB指数	272.81	2.97	<b>EURJPY 3M Vol</b>	10.77%	0.07%
ドルインデックス	104.48	▲ 0.39	EURJPY 6M Vol	10.70%	0.04%

東京時間のドル円は136.37レベルでオープン。仲値前に136.47まで上昇するも勢いはなく、値動きが一服すると136円台前半
で小康状態。中国PMIの結果にも反応は薄く、その他も材料難の中、22銭程度とここ最近と比較すると非常に狭い値幅に
留まり、136.33レベルで海外時間に渡った。

ロントン市場のトル円は、136.33レヘルでオープン。某米銀がECBの利上げ予想を0.25%から0.5%へ引き上げるなど、市場が金利の上昇を織り込みューロ・ルは大きく買われ1.0687まで上昇した。このトル売りが影響してか、トル円も一時135.25まで売られ、135.40レヘルでNYに渡った。

NY時間のドル円は135.40レベルでオープン。朝方はドルショートカバーが持ち込まれ、ドル円は徐々に買い戻される中、米2月製造業PMIが予想を下回るが、続いて発表されたISM製造業景況指数も予想を下回ったものの、支払価格が大きく予想を上回ったことから、インフレ懸念が再燃し136.34まで上昇するが一旦4%台に乗せた米長期金利が低下する展開に135.71まで反落する。午後は再び米金利が上昇したことから136.26まで戻し、136.22レベルでクローズした。一方、ユー마゙ルは、1.068アレベルでNYオープン。オープンと同時に発表をされた独2月CPIが予想を上回ったことから1.0691まで上昇したが、このレベルでは利益確定の売り意欲もありじり安。その後も米ISM製造業結果を受けたドル買いに1.0643まで反落する。その後は1.0679まで戻すが材料不足でその後は方向感の無い推移が続き、1.0670レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

#### 担当:永野•松木

京

ン

#### 【昨日の指標等】

Date

3月1日

『標寺』					
Time		Event		結果	予想
09:30	豪	GDP(前年比)	4Q	2.7%	2.7%
10:30	中	製造業PMI	2月	52.6	50.6
10:30	中	非製造業PMI	2月	56.3	54.9

2月

2月

2月

3月2日 00

	<u>/ (E. )</u>					
Date	Time		Event		<i>予想</i>	前回
3月2日	19:00	欧	CPI速報値(前年比/前月比)	2月	8.3%/0.5%	8.6%/-0.2%
	19:00	欧	コアCPI・速報	2月	5.3%	5.3%
	19:00	欧	失業率	1月	6.6%	6.6%
	21:30	欧	ECB議事要旨	_	_	_
	22:30	米	新規失業保険申請件数	24-Feb	195k	192k

CPI(前月比/前年比)·速報

製造業PMI•確報

ISM製造業景況指数

#### 【ドル円相場】

# 【対円騰落率(日次)】



独

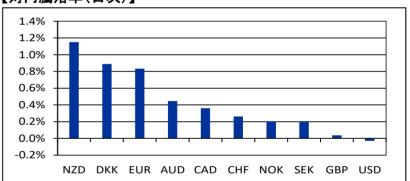
米

米

22:00

23:45

00:00



0.8%/8.7%

47.3

47.7

## 【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	135.50-137.00	1.0550-1.0750	143.50-146.50

## 【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は引き続き下に往って来いの展開。アジア時間帯は動意薄の展開で136.30を挟んだもみ合いの動き。しかし、欧州時間に入るとドイツの一部地方の2月CPIが引き続き高止まったことから、EUR買いが進行して米ドル安となると、ドル円もドル安で反応し、一時135.26まで下落。しかし、その水準で買戻しが入ると、米国時間帯で発表された2月米ISMで支払価格が上昇。インフレ期待から10年債利回りが昨年11月以来の4%台まで上昇すると、ドル円は上昇して136円台を回復。136.22で引けた。

本日のドル/円は東京時間は上値の重い展開を予想する。本日はEU CPIが控えている中、引き続きインフレ状況による値動きはありそうだが、10年債利回りも4%台を回復する中、更に強い指標が出ない限り、ドル円は上値の重い動きになるものと予想。

